

た健康度の評価に関する研究. 厚生科学研究補助金(健康科学総合研究事業)平成13年度総括・分担研究報告書, 57-62, 2002.

- 46) 関根道和, 濱西島子, 陳 暁莉, 王 紅兵, 鏡森定信:「小児の自尊感情に関連する社会家庭環境・生活習慣」休養・睡眠の質・生活の質(QOL)からみた健康度の評価に関する研究. 厚生科学研究費補助金(健康科学総合研究事業)平成13年度総括・分担研究報告書, 63-65, 2002.
- 47) 陳 暁莉, 関根道和, 山上孝司, 濱西島子, 鏡森定信:「小学生における肥満と心理状況, 行動特性についての関連性」休養・睡眠の質・生活の質(QOL)からみた健康度の評価に関する研究. 厚生科学研究費補助金(健康科学総合研究事業)平成13年度総括・分担研究報告書, 66-68, 2002.
- 48) 関根道和, 濱西島子, 陳 暁莉, 王 紅兵, 鏡森定信:「小児期に使用可能と思われるQOL質問票について」休養・睡眠の質・生活の質(QOL)からみた健康度の評価に関する研究. 厚生科学研究費補助金(健康科学総合研究事業)平成13年度分担研究報告書, 69-70, 2002.
- 49) 関根道和, 濱西島子, 陳 暁莉, 林川恭子, 王 紅兵, 鏡森定信:「子供の「こころの健康」を考える」医報とやま, 2002年4月15日号, 16-7頁.
- 50) 鏡森定信:IT時代と健康—携帯電話・送電線の電磁波と健康に関する国際的見解—. 富山市医師会報, 375:11-3, 2002.
- 51) 鏡森定信:「電磁波の影響について」(続 他科医に聞きたいちょっとしたこと(I)). CLINICIAN, 45(512):69-71, 2002.
- 52) 鏡森定信, 関根道和, 濱西島子, ナセルモアッデリアリ:「ストレスと健康」に関するアンケート調査最終報告書(概要版), 2002.
- 53) 王 克明, 鏡森定信(研究報告集):「気候・地勢および温冷刺激の保養効果の自律神経指標による評価に関する研究」. 平成12年度厚生科学研究費補助金 健康科学研究推進事業研究報告集, 48-65, 2002.

公 衆 衛 生 学

教授(前)	加須屋	實
助 教 授	寺 西	秀 豊
助 手	青 島	恵 子
助 手	加 藤	輝 隆

◆ 著 書

- 1) 寺西秀豊:花粉源対策, 疫学・環境問題.「ここまで進んだ花粉症治療法」佐橋紀男, NPO花粉情報協会編, 163-169, 岩波書店, 東京, 2002.
- 2) 加藤輝隆:酸性雨.「社会医学事典」高野健人他編, 352-353, 朝倉書店, 東京, 2002.
- 3) 趙 慶利, 崔 正国, 李 富君, 小川良平, 林(荒井)陽子, 結城浩良, 近藤 隆:放射線あるいは温熱誘発アポトーシスの制御におけるフリーラジカルの寄与.「集学的癌治療の研究と臨床」3-9, 篠原出版, 東京, 2002.

◆ 原 著

- 1) Teranishi H., Takagawa K., Arai Y., Wakaki K., Sumi Y., and Takaya K.: Histological staining of cadmium with 2-(8-quinolyazo)-4,5-diphenylimidazole (QAI) in the kidneys of rats periorally exposed to cadmium. J. Occup. Health, 44:60-62, 2002.
- 2) Saito M., and Teranishi H.: Immunologic determination of the major allergen, Cry j 1, in *Cryptomeria japonica* pollen of 117 clones in Toyama Prefecture: Some implications for further forestry research in pollinosis prevention. Allergology International, 51:191-195, 2002.
- 3) Nishijo M., Nakagawa H., Honda R., Tanebe K., Saito M., Teranishi H., and Tawara K.: Effects of maternal exposure to cadmium on pregnancy outcome and breast milk. Occup. Environ. Med., 59:394-397, 2002.
- 4) Arai Y., Kondo T., Tanabe K., Zhao Q., Li F., Ogawa R., Li M., and Kasuya M.: Enhancement of hyperthermia-induced apoptosis by local anesthetics on human histiocytic lymphoma U937 cells. J. Biol. Chem., 277:18986-18993, 2002.
- 5) 寺西秀豊, 内田満夫, 林(荒井)陽子, 剣田幸子, 新村律子, 加須屋 實:スギIgE測定に関する蛍光ELISA法とCAP-RAST法の比較.花粉症研究会会報, 13:16-20, 2002.

- 6) 吉田行夫, 中川稔夫, 槻 陽一郎, 田近由美子, 稲葉博司, 泉 喜久夫, 村井 満, 清水規矩雄, 巽 亜希子, 河合康守, 藤永州一, 岡子光太郎, 寺西秀豊: 2001年富山県下のスギ花粉飛散状況. 花粉症研究会会報, 13:28-31, 2002.
- 7) 岡子光太郎, 平 英彰, 寺西秀豊, 劔田幸子: 気象情報を用いたスギ花粉の日飛散量予測. 富山県林業技術センター研究報告, 15:25-32, 2002.
- 8) 劔田幸子, 寺西秀豊, 加藤輝隆, 加須屋 實, 斎藤真己: ケヤキ花粉飛散の特徴—特にスギ・ヒノキ科花粉飛散の年次変動との関連性—. 日本花粉学会会誌, 48(1):13-18, 2002.
- 9) 青島恵子, 樊 建軍, 河西由美子, 加須屋 實: 血清骨型アルカリ性ホスファターゼ活性の電気泳動法によるアイソザイム分析とEIA法の比較—カドミウム環境汚染地域の尿細管障害例を対象として. 臨床検査, 46:1583-1586, 2002.
- 10) 林 陽子, 近藤 隆, 趙 慶利, 小川良平, 李 富君, 李 民, 加須屋 實: 局所麻酔薬による温熱誘発アポトーシスの増強. 磁気共鳴と医学, 13:146-149, 2002.
- 11) 近藤 隆, 李 富君, 崔 正国, 小川良平, Loreto B. Feril, 林 陽子: 温度依存性フリーラジカル発生による温熱誘発アポトーシスの増強. 癌の臨床, 48:370-373, 2002.
- 12) 林 節男, 大和田絵里, 下岡由実, 寺西秀豊: アレルギー性花粉からみたナシおよびリンゴ果樹生産作業者の環境調査. 富山県農村医学研究会誌, 32:7-11, 2001. (第25輯記載もれ)
- ◆ 総 説
- 1) 加須屋 實, 加藤輝隆: MSDS通知対象物質の中の金属. 産業医学レビュー, 14:215-228, 2002.
- ◆ 学会発表
- 1) 寺西秀豊: 花粉症研究会・研究史をまとめて. 湯田上カンファレンス喘息アレルギー研究会, 2002, 2, 田上.
- 2) 近藤東郎, 加須屋 實, 青島恵子: 尿中NTx簡易測定法の有用性に関する研究. 第72回日本衛生学会, 2002, 3, 津.
- 3) 青島恵子, 樊 建軍, 加藤輝隆, 寺西秀豊, 加須屋 實: カドミウム腎症の尿細管機能と骨代謝に関する長期経過観察. 第72回日本衛生学会, 2002, 3, 津.
- 4) 林 節男, 大和田絵里, 下岡由美, 寺西秀豊: アレルギー性花粉からみたナシ・リンゴ果樹生産作業者の環境調査. 第19回富山県農村医学研究および健康管理活動発表集会, 2002, 3, 高岡.
- 5) 青島恵子, 加須屋 實: 交替勤務とタンパク尿. 第75回日本産業衛生学会, 2002, 4, 神戸.
- 6) 荒井陽子, 寺西秀豊, 青島恵子, 加藤輝隆, 加須屋 實: 六価クロム毒性におけるアポトーシスの関与. 第75回日本産業衛生学会, 2002, 4, 神戸.
- 7) 寺西秀豊, 劔田幸子, 加藤輝隆, 加須屋 實: 富山県におけるスギ花粉症初発症状の特徴. 花粉症研究会, 2002, 5, 金沢.
- 8) Teranishi H., Kenda Y., Katoh T., Kasuya M., and Yasueda H.: Atmospheric pollen survey of *Cryptomeria japonica* in Toyama, Japan: A comparative study on the relationship between pollen count and allergen concentration. 7th International Congress on Aerobiology, 2002, 8, Montebello, Canada.
- 9) Teranishi H., Uchida M., Katoh T., and Hayashi S.: Combined effect of the exposure to fruit-tree pollen allergen and the other pollen allergens among Japanese pear farmers. 10th International Conference on the Combined Effects of Environmental Factors, 2002, 8, Takatsuki.
- 10) Aoshima K., Arisawa K., Cai Y., Fan J., Teranishi H., Katoh T., and Kasuya M.: Gender differences in bone metabolism in cadmium-nephropathy. 10th International Conference on the Combined Effects of Environmental Factors, 2002, 8, Takatsuki.
- 11) Katoh T.: A pilot study on ring-width chronology of *Zelkova serrata* growing in Central Japan. 6th International Conference on Dendrochronology, 2002, 8, Quebec City.
- 12) 林 陽子, 近藤 隆, 趙 慶利, 小川良平, 加須屋 實: 局所麻酔薬による温熱誘発アポトーシスの増強. 第19回日本ハイパーサーミア学会, 2002, 9, 名古屋.
- 13) 寺西秀豊: 演題にみる第7回国際空中生物学会議の動向. 日本花粉学会, 2002, 10, 高知.
- 14) 寺西秀豊, 劔田幸子, 村上巧啓, 槻 陽一郎: 花粉症情報システムを活用したスギ花粉症初発症状特性に関する研究. 第52回日本アレルギー学会, 2002, 10, 横浜.
- 15) 寺西秀豊, 劔田幸子, 加藤輝隆, 内田満夫: 情報システムを利用した気候温暖化の花粉症発症におよぼす影響解析. 第61回日本公衆衛生学会, 2002, 10, さいたま.
- 16) 内田満夫, 寺西秀豊, 青島恵子, 加藤輝隆, 加

- 須屋 實：カドミウム汚染地域住民における尿中ビタミンD結合蛋白の定量的測定. 第61回日本公衆衛生学会, 2002, 10, さいたま.
- 17) 青島恵子, 蔡 雲清, 樊 建軍, 加須屋 實：カドミウム曝露指標としての尿カドミウム値の検討—事業所社員を対象として—. 第45回日本産業衛生学会北陸甲信越地方会, 2002, 10, 富山.
- 18) 林 陽子, 近藤 隆, 趙 慶利, 小川良平, 加藤輝隆, 寺西秀豊：六価クロムの細胞毒性におけるアポトーシスの関与. 第61回日本癌学会, 2002, 10, 東京.
- 19) 加藤輝隆, 長井幸雄, 増田準三, 和田直也, 柳川朋美, 元木博人, 牧野 敦, 北島琢郎, 河野昭一：奥黒部（読売新道周辺）の植生調査と年輪解析. 2002年度「樹木年輪」研究会, 2002, 11, 仙台.
- 20) 加藤輝隆：「樹木年輪」研究会で学んだこと. 2002年度「樹木年輪」研究会シンポジウム（樹木年輪研究会と年輪研究の動向）, 2002, 11, 仙台.
- ◆ その他
- 1) 加須屋 實：環境と人間—パンドラの箱の行方—. 富山医薬大医誌, 14:1-11, 2002.
- 2) 加須屋 實：プロメテウスとエピメテウス. 産業医学ジャーナル, 25:69-71, 2002.
- 3) 加須屋 實, 加藤輝隆, 青島恵子, 寺西秀豊, 萩野茂継：イタイイタイ病認定患者・要観察者・要観察解除者の認定・判定・死亡状況—2001年1月12日現在のまとめ—. 環境保健レポート, 68:41-54, 2002.
- 4) 加須屋 實, 加藤輝隆, 青島恵子, 寺西秀豊, 萩野茂継：イタイイタイ病認定患者・要観察者の臨床検査成績の推移（第11報）. 環境保健レポート, 68:55-163, 2002.
- 5) 加須屋 實, 青島恵子, 寺西秀豊, 加藤輝隆, 蔡 雲清, 萩野茂継：イタイイタイ病の尿・血液検査成績（1990-2000）. 環境保健レポート, 68:164-184, 2002.
- 6) 青島恵子, 樊 建軍, 加藤輝隆, 寺西秀豊, 加須屋 實, 萩野茂継：カドミウム腎症における尿細管機能と骨代謝：15年間の追跡研究. 環境保健レポート, 68:220-224, 2002.
- 7) 青島恵子, 加須屋 實, 寺西秀豊, 加藤輝隆：カドミウム環境汚染地域住民の健康影響と米中カドミウムの寄与. 平成11年度～平成13年度科学研究費補助金基盤研究（B）（2）研究成果報告書, 1-99, 2002.
- 8) 加須屋 實, 寺西秀豊, 青島恵子, 加藤輝隆：カドミウム汚染地域住民の骨代謝異常発症の危険因子に関するコホート研究. 平成12年度～平成13年度科学研究費補助金基盤研究（C）（2）研究成果報告書, 1-60, 2002.
- 9) 富山医科薬科大学医学部公衆衛生学教室：加須屋 實教授退官記念教室業績集, 1-171, 2002.
- 10) 富山医科薬科大学医学部公衆衛生学教室：加須屋 實教授退官記念富山医科薬科大学医学部公衆衛生学教室イタイイタイ病ならびにカドミウム関連研究論文集, 1-647, 2002.
- 11) 青島恵子：健診データのまとめ方・活かし方（その1）肥満度別検討. 産業保健とやま, 27:8-9, 2002.
- 12) 青島恵子：健診データのまとめ方・活かし方（その2）肥満度による比較. 産業保健とやま, 28:10-11, 2002.
- 13) 青島恵子：健診データのまとめ方・活かし方（その3）肥満度別2群間の比較. 産業保健とやま, 29:10-11, 2002.
- 14) 青島恵子：産業保健活動のさらなる推進を目指して—産業医と産業保健スタッフとの連携—第45回日本産業衛生学会北陸甲信越地方会総会シンポジウムから. 産業保健とやま, 31:7-10, 2002.
- 15) 青島恵子：化学実験業務における有害化学物質に対する労働衛生的対策. 富山工業高等専門学校工業材料教育研究センター報告, 第14/15号, 13-14, 2002.
- 16) 北島琢郎, 和田直也, 柳川朋美, 牧野 敦, 長井幸雄, 増田準三, 加藤輝隆：奥黒部読売新道沿いの森林植生. 「読売新聞北陸発刊40周年記念事業 奥黒部自然総合学術調査報告書」, 立山連峰の自然を守る会編, 24-59, 読売新聞北陸支社, 高岡, 2002.
- 17) 加藤輝隆, 長井幸雄, 増田準三, 和田直也, 柳川朋美, 元木博人, 牧野 敦, 北島琢郎, 河野昭一：奥黒部の森林樹木の年輪解析. 「読売新聞北陸発刊40周年記念事業 奥黒部自然総合学術調査報告書」, 立山連峰の自然を守る会編, 60-71, 読売新聞北陸支社, 高岡, 2002.
- 18) 石田 仁, 折谷隆志, 加藤輝隆, 小島 覚：「環境変動と立山の自然—立山植生モニタリング調査報告書—」, 立山植生研究会 小島 覚編, 富山県生活環境部自然保護課, 富山, 2002.
- 19) 加須屋 實：日本におけるイタイイタイ病の歴史と現状. 明治から平成までの日本の環境問題. ミシガン大学連合, 2002, 1, 大津.
- 20) 青島恵子：作業管理の方法(1) バイオロジカル

モニタリング, 許容濃度. 富山県医師会平成13年度産業保健基礎前期研修会, 2002, 2, 富山.

- 21) 加須屋 實: 人間ドック・健康診断を生かす. 富山市企画管理部情報統計課統計講演会, 2002, 2, 富山.
- 22) 加須屋 實: 環境毒性学—複合汚染について. 富山県医師会第3回産業保健特定科目専門研修会, 2002, 2, 富山.
- 23) 加須屋 實: 環境と人間—パンドラの箱の行方—(最終講義). 富山医科薬科大学医学会学術集会, 2002, 3, 富山.
- 24) 加藤輝隆: エコロジーの時代の環境意識とニュービジネス. 平成14年度とやま産学官交流会, 2002, 9, 富山.
- 25) 加須屋 實: イタイイタイ病研究の56年と21世紀の課題. イタイイタイ病勝利判決30周年シンポジウム, 2002, 11, 富山.
- 26) 青島恵子: イタイイタイ病の今日的課題と環境問題 (パネルディスカッション). イタイイタイ病勝利判決30周年シンポジウム, 2002, 11, 富山.

法 医 学

教 授	滝 澤 久 夫
講 師	小 湊 一 郎
助 手	島 田 一 郎
教 務 職 員	畑 由 紀 子

◆ 原 著

- 1) Kominato Y., Hata Y., Takizawa H., Matsumoto K., Yasui K., Tsukada J., and Yamamoto F.: Alternative promoter identified between a hypermethylated upstream region of repetitive elements and a CpG island in human ABO histo-blood group genes. *J. Biol. Chem.*, 277:37936-37948, 2002.
- 2) Shimada I., Brinkmann B., Tuyen N.Q., and Hohoff C.: Allele frequency data for 16 STR loci in the Vietnamese population. *Int. J. Legal Med.*, 116:246-248, 2002.
- 3) Shimada I., Rand S., Brinkmann B., and Hohoff C.: Kurdish population data for 11 STR loci (ACTBP2, CSF1PO, FGA, TH01, TPOX, vWA, D3S1358, D5S818, D7S820, D13S317 and D21S11). *Int. J. Legal Med.*, 116:301-303, 2002.
- 4) Hata Y., Kominato Y., Yamamoto F., and Takizawa H.: Characterization of the human ABO gene promoter in erythroid cell lineage. *Vox Sanguinis*, 82:39-46, 2002.
- 5) Tsuchiya T., Kominato Y., and Ueda M.: Human hypoxic signal transduction through a signature motif in hepatocyte nuclear factor 4. *J. Biochem.*, 132:37-44, 2002.
- 6) Toda Y., Tsukada J., Misago M., Kominato Y., Auron P.E., and Tanaka Y.: Autocrine induction of the human pro-IL-1 β gene promoter by IL-1 β in monocytes. *The Journal of Immunology*, 168:1984-1991, 2002.
- 7) Thaik-Oo M., Tanaka E., Tsuchiya T., Kominato Y., Honda K., Yamazaki K., and Misawa S.: Estimation of postmortem interval from hypoxic inducible levels of vascular endothelial growth factor. *J. Forensic Sci.*, 47:186-189, 2002.

◆ 学会報告

- 1) 小湊慶彦, 畑 由紀子, 松井健一, 滝澤久夫: ABO式血液型遺伝子上流域のDNAメチル化の状